

発行元：青森県環境生活部県境再生対策室田子町現地事務所

TEL 0179-20-7044

〒039-0201 三戸郡田子町大字田子字天神堂向146

FAX 0179-20-7045

県境再生対策室ホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/2008-0620-kenkyo-top.html>

不法投棄産業廃棄物の撤去実績について

【平成23年12月31日までの撤去実績】

(撤去量の単位：トン)

区 分	一次撤去		本格撤去				合計	
	平成16～18年度		平成19～22年度		平成23年度		平成16～23年度	
作業日数	521		885		144		1,550	
撤去実績	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量
	9,004	97,203	55,259	642,240	8,180	97,066	72,443	836,509

地山の確認(第6回)について

12月7日(水)に県境不法投棄現場県境部及び北側エリアの一部で6回目の地山(自然地盤の土壌)の確認を行いました。

今回確認したエリアの面積は、約6,200m²で、地山確認面積はこれまでの累計で約28,800m²となりました。

今回確認したエリアには、主に堆肥様物、焼却灰、RDF様物(ごみ固形化燃料に似せたもの)などが埋められていました。地山が露出するまで、13m程度掘削しています。

当日は、地山表層を目視で確認した後、1箇所を重機で2m程度掘り起こして廃棄物が埋まっていないことを確認しました。今回確認した地山については、VOC(揮発性有機化合物)及び重金属等の汚染の有無を確認するため、試料を採取し分析を行っています。分析の結果は判明次第公表します。



試掘の状況



地山の状況(県境部)



地山の状況(現場北側エリア)

廃コンデンサの追加確認について

県境不法投棄現場では、平成23年5月31日までに43個の廃コンデンサが確認されていましたが、11月の掘削作業中に、廃コンデンサ8個が新たに追加確認されました。

このうち、4個の廃コンデンサには内部に絶縁油の可能性のある液体が残っていたことから、汚染拡散の有無を確認するため周囲の廃棄物のPCB分析を行いました。PCBは検出されませんでした。

この内容については、専門家の確認・評価を受け、安全を確認した上で撤去作業を行っています。

今後も、掘削作業に伴ってPCB汚染を拡散させないように注意深く作業を行い、同様の廃コンデンサが見つかった場合は専門家の確認・評価を受け、安全を確認しながら適切に対応していきます。



発見の状況（廃コンデンサは写真中央）



廃コンデンサ

周辺環境モニタリング調査結果について

モニタリング調査（水質、大気質、騒音振動）結果（平成23年度：第7回目）

- (1) 10月5日（水）に周辺河川・湧水等11地点、周辺地下水6地点、遮水壁内地下水10地点の水質について調査したところ、遮水壁内地下水で1,4-ジオキサン（6箇所）、ベンゼン（2箇所）、ほう素（1箇所）、塩化ビニルモノマー（1箇所）が「環境基準」を超えたものの、周辺河川・湧水等や周辺地下水では「環境基準」を超える値は検出されませんでした。
- (2) 10月19日（水）から20日（木）にかけて現場敷地境界の3地点の有害大気汚染物質、10月19日（水）から25日（火）にかけて上郷地区の大気汚染物質を調査したところ、測定した全ての項目で「環境基準」を下回りました。
- (3) 10月19日（水）に田子地区及び上郷地区で騒音・振動について調査したところ、いずれの地点も、「環境基準」及び「道路交通振動の要請限度（第1種区域）」を下回りました。

モニタリング調査（水質）結果（平成23年度：第8回目）

11月2日（水）に周辺河川・湧水等2地点、周辺地下水4地点の水質について調査したところ、「環境基準」を超える値は検出されませんでした。

県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会の開催について

第41回協議会は、平成24年3月24日（土）13時30分より、青森県観光物産館アスパム（青森市）で開催します。

【県境不法投棄事案に関するお問い合わせ、御意見等は、田子町現地事務所まで（TEL 20-7044）】

なお、県境再生対策室のホームページで、現地事務所だよりのカラー版や各種お知らせ、資料などを見ることができます（<http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/tayori.html>）。